

➤ 28日 火曜

I サムエル



17:50 ダビデは、石投げと石一つでこのペリシテ人に勝ち、このペリシテ人を撃って、彼を殺した。ダビデの手に剣はなかったが。
17:51 ダビデは走って行ってペリシテ人の上に立ち、彼の剣を奪ってさやから抜き、とどめを刺して首をはねた。ペリシテ人たちは、自分たちの勇士が死んだのを見て逃げた。
17:52 イスラエルとユダの人々は立ち上がり、ときの声をあげて、ペリシテ人をガイの谷間に至るまで、そしてエクロンの門まで追った。それでペリシテ人は、シャアライムの道に、ガテとエクロンに至るまで、刺し殺されて倒れていた。
17:53 イスラエル人はペリシテ人追撃から引き返して、ペリシテ人の陣営を略奪した。
17:54 ダビデは、あのペリシテ人の首を取ってエルサレムに持ち帰った。しかし、武具は自分の天幕に置いた。
17:55 サウルは、ダビデがあつたペリシテ人に向かって出て行くのを見たとき、軍の長アブネルに言った。「アブネル、あの若者はだれの息子か。」アブネルは言った。「王様、お誓いしますが、私は存じません。」
17:56 そこで、王は命じた。「あなたは、あの少年がだれの息子かを調べなさい。」
17:57 ダビデがペリシテ人を討ち取って帰って来たとき、アブネルは彼をサウルの前に連れて来た。ダビデはペリシテ人の首を手にしてた。
17:58 サウルは彼に言った。「若者よ、おまえはだれの息子か。」ダビデは言った。「あなたのしもべ、ベツレヘム人エッサイの息子です。」

少年ダビデはペリシテ人ゴリアテを打ち倒し、それによりイスラエルは勝利を得ました。サウル王は勇士であるダビデを呼び寄せました。

ダビデの手には「剣はなかった」のですが、彼の信仰と主のためという純粋な動機、そして自分に与えられた生き方（羊飼いとて猛獣から羊を守る）に最善をつくしていたことによって、この奇跡的な勝利を得ることができたのです。

私たちは、主のみわざなど起きるのだろうかと思念を抱く前に、ダビデのような信仰と取り組みがあつただろうかと、考えてみる必要がありそうです。

ダビデの勇氣ある信仰、また自分を危険にさらす献身的な信仰によって、イスラエルの群衆全体が「立ち上がり」、ペリシテ人を「追つて」戦いました。自分一人では何もできないからと、あきらめてしまわないで、まず信仰によって立ち上がってみましょう。それによって大きな可能性を生むのです。

ダビデはサウルのために竖琴を弾いていたのですが、まだこの時点では彼によく知られてはいませんでした。預言者サムエルから王となるべく油を注がれたのですが、その実現のためにはまだプロセスや訓練が必要であつたということです。

主によって勝利と祝福が約束されている私たちですが、性急に結果だけを求めないで、主からの導き・訓練をいただいて時を待つ忍耐も持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

